**教職員との懇談会議事録**

テーマ　「進路について」(受験について)

・進路について

　ここ数年進路受験の在り方が変わったことについて

　・評価が　絶対評価にかわり　チャレンジテストによって評価

　・受験当日の評価が大きくかわってくるようになり無理なチャレンジも増えた。

　・志望校

　　3年間の内申点がとても大事　提出物　出席率　授業態度など

　　公立…内申点＋当日テスト…2月下旬に決定

　　私立…ほぼ内申点のところが多い　すべてではないが…12月の懇談会で決定

　　受験人数のオーバー数で判断しないほうが良い。

　　チャレンジテストは大阪だけ（ベネッセ）…今後はなくなるかも？

　　・私立は一概には言えないが塾と通じている時があり　オープンスクールなど行ったとき　に相談会がある場合は受けてみて　そこでの学校側の応対で受かるかどうかわかる場合がある。

・受験について

　・勉強スイッチは　全体的には　1学期おわりから2学期はじめが多い

　・勉強の仕方は携帯など依存している場合は携帯のアプリを使用した勉強

　　方法も良い。

受験進路について　公立校の選択が中学校としても　かなり難しくなってきているのは事実

保護者側は　塾本位にもなってきているのも事実

各学校で　学校ともじっくり相談してきめてほしい。

・その他

　・性教育について

　　学校でも家でも話をしている家と学校に委ねている家とありました。

　・携帯電話についてなど

　　基本時間を決めて持たせているが　依存が強くなかなかきかない

　　学校・塾・クラブ・友人間などすべてが携帯でつながっている

　　SNSの怖さなどもっとしてほしいというのもあった。

テーマ　「進路について」(受験について)

兄、大学生（中学から私立）

弟　中学2年

先生に質問

将来の進路（目標）を今の子はどのくらい持っているのか？

個人差がある。先の事を考えている子は少ない、子供ひとり一人特性があるので、一概に言えないが、早くから夢を見つける子もいるが、あいまいな子の方がほとんど。具体的に決めている子もいるが、漠然とお金持ちになりたい…とかいい大学に行きたい…程度の子供も多い。

マイペースでクラブをやらない子、ゲームばかりする子が増えた。

何のために勉強するのか？しないといけないのか？

夢をかなえる為

選択肢を広げる為

夢を今から決めていることも危険

→うまくいかなかった時、他の目標にかえられるか？

私は、小さいころから夢がなかったのが苦痛でしたが、夢がなくても悪ではないと思う。

今は、高校を決める時、自分で探すよう突き離される。

先生の話

昔はあまり特色がなくどうでもいいという感じだった。今はそれぞれ違っている。情報はネットで入ってくるが、実際足を運んでみて、学校の雰囲気を感じる必要がある。

高校に入ったら、ゴールだと思っていた子が、思いを描いていた高校生活を送れず挫折してする子が多い。

最近幼い子が多い。

今の子はおとなしい。幼い中学生が多いのは、押さえつけられていると思う。昔は、逆らっていた意見の食い違いがあった。今は選択肢がたくさん広がっていると思う。

「ママ」といつまでも言う子供が気持ち悪い、いつまで言うのでしょう。

内申について

私立は、勉強ができないより遅刻する等、素行の悪い子の方が困る。

公立は、定員でとるのでそこまではいかない。

私立、公立に限らず、子供が機嫌よくいってくれることが一番大切

クラブをやっている子の方が、熱い中がんばった達成感があるのか秋から延びる。

以上、最近の子供の生活ぶり、夢、目標等、親世代の経験と対比しながら、話をしていき、最近の受験事情や子供の将来についてことについても色々ことについて話がでました。

テーマ　「クラブ活動について」

各中学校、やりたいクラブがないから違う学校へと進学する生徒、子どもたちもいて、またクラブがあっても、顧問の先生によって指導内容、技術的なもの、クラブに関しての熱量や

顧問の人数などばらつきがあるが、調整できないのか。

基本、学習指導要領の中にクラブ活動は含まれてはいなく、また担当教科でとなるため、

異動について教職員の希望などは問われることはなく、〇〇中学へとなればその学校への勤務となるため教職員では調整はできない。

クラブに所属するが、そのクラブの顧問を決定するのが、毎年一番難しい。

未経験な場合もあり、生徒と一緒に学んで経験を積まれていることもある。

３年生の担任を持てば、クラブ活動に関わる時間は持てなくもなる。

ただ、中学入学となる小学６年生はクラブ活動は何に入ろうかとクラブ活動に対して大きな熱意がある。体験で中学も行くことから〇〇部に入ろうかなという声が入学に近づくにつれて大きい。

〇〇部がないから地域の中学でなく、他校へと選択をできたが、それもできなくなる。

昔は全国など目指してやっていた生徒が先生が他校へ異動になれば、その地区に引っ越したこともあった。

小学生の頃からバレーボールやサッカーなど専門的に経験している子どもたちが行く中学がその顧問の先生の消極的な指導だったりということもある。

上手くなりたいと思う時は、帰宅部で外部のクラブチームなど所属し活動することを選択するが、その際内申でどうなるのかなどという不安もある。

教職員の先生方からはそういう生徒は外部のクラブチームなど所属して力を伸ばす方がいいと言う意見で、また内申での影響はない。

自己申告書などでクラブに入部し、三年間続いたという自信から自己申告書に書けることが大きいが、外部のクラブチームなど所属しそこでのことでの自信や実績など自己申告書を書くことができることから、本当に上手くなりたいと思っている子どもにはどうするか、入学前に家庭内で子どもと話しあってというケースもある。

働き方改革での、土日どちらかの活動など時間数が減っていることについて、先生の休みも必要だと保護者も理解しているのもあるが、土日をクラブで過ごしていたのがここ数年で変わったこともあり、休みだからと結局はゲームなどをして過ごしていることが多くなるだけだということもある。

学習要領としてない。という点からもクラブ活動に顔を出さない先生方もいるし、働き方改革だからと決まってる先生が顧問としてやってくれていると偏りがあるように思える。

携帯電話についてだが、陸上部をされている先生からは携帯は持たせていた方がいいという意見だった。試合だとはいえ、ずっと生徒といるわけでもなく、また生徒も補助などに回るため、試合先で何かあった時ということでは持たせていいという意見。

また、遠征先、試合先まで自転車での移動ではやっぱり危険なこともいろいろあり、少ない先生だけの引率だと大変だということ。

そういう点ではPTA団体保険など加入してもらってる方がいいという意見だった。

保護者が何人か生徒を車で試合先、遠征先まで送迎しようとする声があるが断っていふとのこと。事故などがあった時、誰の責任かとなっては大変だから。

今回の懇談会で保護者が皆、知らなかったことですが、学校に外部からのコーチを呼ぶことができることを知った。時間数は決まっている。その給与として支給されてコーチを呼ぶ形となるようだが、教育委員会に申請などが必要。また、外部コーチとはいえ、OBなどまた地域で快く引き受けてくれる方も多くいるようです。

子どもの朝練についてだが、家から学校までの距離が長く、朝練、午後からの練習となると、習い事などもしているので大変だと思う。また自由参加とはなっているものの、行かなければ周りの目を気にして、特に女の子だとそういうのはあるので朝練に参加している。

先生たちからも女の子は特にそういうのが多いと認識もされていた。

国からクラブ活動費としてはお金が出ておらず、また市もクラブ活動費としては出ないことからクラブでの費用が賄えないことがある。

クラブ活動は学習要領に含まれないとはいえ、保護者、先生たちからもクラブ活動での子どもたちのいきいきとした姿や、また非行に走ってた生徒がクラブ活動で変化を得るなどもあることからクラブ活動やまた外部のクラブチームでの活動など、子どもたちにとって中学校生活において大きなものだと思う。

PTAについてだが、先生、保護者とも世代によってまず人との付き合いの差がまずある。

面倒くさいなと思っていても、参加してみて楽しいと思って参加される先生もいる。

親も同じで自分の子どものためだけに役員を引き受けてはいるが、やってみたからこそ、中学校では小学校とは違い、特に先生のことや学校のこと、子どもの様子などを知ることができるということがある。ただ、本部の役員の負担は大きい。

イベントなど初めは乗り気でない先生方が、参加してみて楽しんでいて、それをみた保護者側も先生の印象がすごく変わったりなどしたこともあることから、各学校によって活動内容や交流など違う点はあるものの、今回の懇談会でも参加してくださることは非常に大きいものだと思う。

活動内容などをみて、次の役員選出で引き受けてくれる方もいることも確か。

保護者全体によりわかりやすく活動するのは次に少しでも繋がるものだと思う。

報道、メディアなどでどうしてもPTAというものが、堅い組織だと、またモンスターペアレントのような勘違いされがちなところはある。また任意団体なのだからということだけで加入しなくてもいいということだけが広まっていて、実際の活動のメリットなど、子どもたちにどう還元されているのかがあまりに広まっていないと思う。

保護者、先生ともに子どもたちのためにという考えのもと、意見、要望などがあるものの、どちらが正しいということではなく、また教育委員会などに先生方の異動の際にはクラブ活動でのことも含めて、考慮してもらうようになればもっと、子どもたち、一人ひとりの力が伸びるきっかけになるのでないかと思う。

最後に司会をさせていただき、中学校の先生はもちろん、小学校の先生もいたので、色んな先生方の意見が聞け、ほかの保護者の考えも知ることができ、内容あるものが楽しくできたと思います。

テーマ　「進路について」(受験について)

・進路（＋生活）について

 進路についての話題を子供にどのように投げかけるか？

 →ストレートに将来の事を聞いてみるといいと思う

→好きなことに従事したいと言う話もできたりする

→例えば、看護師を目指して、今、国家試験に向けて勉強しているが幼い頃に病院でお世話なった記憶が動機だったりする

・ゲームの問題にどう対処しているか？

 →ルールを決めてやらせている

 →ルール守れない事があったので、目の前で捨てた事もある

 →ゲーム機が無いなら無いで、子供は意外と平気にしている

・将来を考える上で、現実問題としてどの様な課題があるか？

→保護者の収入の格差が進路にも影響がある点

・受験(＋内申)について  チャレンジテストの是非についてどう思うか？

→テストの回数が増えるので、生徒の負担が大きくなっている

→チャレンジテストの成績次第では、これまで積み上げてきた成績が無かった事にされるのは納得いかない

→普段の成績のいい生徒は、塾からチャレンジテストを受けないようアドバイスを受けたりもしている

→学校間の学力差と個人の学力差の矛盾を是正するために導入されたはずが、本末転倒になってはいないか？

・今の教育環境の中で保護者は何をすればよいか？

→正直、教師は行政が定めた方針の枠組みでしか動けない為、色々と限界(制約)がある

 →教育環境の改善は、保護者側から声を上げて貰った方が早い

→教育現場と教育行政との間にはギャップがある

→例えば、門真市は教師⼀人に補助がつくようになった

→教師が本来やるべき事に時間を割く事ができる様になっている進路指導において、生徒と保護者との間で希望する進路が異なる場合、指導する側としてはとても困る

→まずは各家庭で意識合わせをして貰うのが良い。最近は、進路に塾が干渉してくる

→本⼈が公立志望でも、塾から併願で私立を勧めてくる。

・今は昔と比べて随分進路の選択肢も増えたようにも感じるが、今時の中学生はどの程度目的志向で進路を決めるのか？

→正直２割程度だと思う。進路を考える上で、何かアドバイスはあるか？

→今は公立も私立もオープンスクールを催しているので、その機会を利用するといい

→特に校風を知るには文化祭がチャンスだと思う

・最近の受験の流れはどの様な感じか？

→大阪(私)、京都・奈良(私)、大阪(公)の順番で試験が行われる

→公立専願で不合格だった場合は、通信制、専修学校、専門学校の進路が残る

→公立専願は昔とは違って勧めにくい(私立との併願を進めている)